



もりっこ

第25号
通信

＜理事長挨拶＞【新会場「赤城ぼうけん山」について】

活動を開始して8年目を迎えました。長く活動してきた「国立赤城青少年交流の家」以外にも活動拠点を確保するため、多くの方のご尽力をいただき、開拓を続けてきました。過日、ご縁をいただき「静和幼稚園」さんが所有する「せいわぼうけん山」というフィールドをお借りできることになりました。

今までの会場は遊び場までの移動に時間がかかり、遊ぶ時間が少なくなってしまうデメリットもありました。新会場は駐車場から遊び場までの距離が短く、すぐに活動を始めることができるので、短時間での活動に適しています。それぞれの長短を使い分けて、目的に応じて会場を選択し、より楽しいプログラム提供をできるようにしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。
理事長 櫛島隼人

指導に出かけてきました！

「あかぎの森のようちえん」では、関係団体からのご依頼をいただき、研修会や講習会、子どもたちの体験活動の場を作るお手伝いをしています。数件のご紹介ですが、ぜひご覧ください。

◆1/5（日）・2/9（日）TBSハウジング イベント出展

住宅展示場である「TBSハウジング」で開催されたイベントにて、体験コーナーの出展をしてきました。1月は「たき火」を楽しむコーナー、2月は「木のおもちゃ」で遊ぶコーナーを運営しました。体験型のイベントは親子でも楽しみやすく、子どもに手を引かれ、何度も足を運んでくれる方もいました。地域の様々な場所で多様なイベントが開催されるようになった昨今、「あかぎの森のようちえん」もあちこちに出向いて、自然体験活動の入り口となる簡単な体験を提供できるよう、今後も地域のイベント主催者、行政の方と連携を深めていこうと気持ちを新たにしました。
(めで島)



◆2/23（日）群馬県青少年会館 チームリーダーミーティング



群馬県青少年会館で開催された、団体の責任者・リーダー役を対象とした研修会にて講師を務めさせていただきました。団体運営のポイントをまとめたものをお話しし、コミュニケーションを改めて考えられるよう、日ごろの同僚・サークルの仲間との関わり方を振り返ります。立場に近いメンバーが参加していたこともあり、お互いに悩み、困っていることを共有する場面も設けます。全員に「子供と関わる組織に属する」という共通点があることも助け舟となり、話し合いも大いに盛り上がりました。「メンバーを支援する」という役割をこなす皆さんにとって、同じ道の仲間がいるということは励みになったと感じます。
(めで島)

◆保育園・こども園 職員研修

年度末が近づいてくると、園内での研修が盛んに行われるようになっていきます。今年度も何件か、園内研修で講師をさせていただきました。幼児教育の原則ともいえる「教育要領」「保育指針」が変わり、現場では学ぶ時間の無さから、自身の理解が正しいのか分からない、という声が聞こえてきます。一般的な概念をまとめて、互いに意見を伝え、理解を深めるキッカケとする機会のお手伝いとなりました。

また一方で、園内での事故やヒヤリ・ハットに焦点を当てた研修の依頼もいただいています。幼児教育の現場は様々なリスクがあります。そのリスクを上手にマネジメントしながら、子どもの育ちを支えている現場の先生方には頭が下がります。体験活動の中で使っている「安全管理」の考え方を保育現場に落とし込めるよう、お伝えする機会をいただきました。現場は日々、目まぐるしく過ぎていきます。そんな中で子どもたちと真剣に向き合い続ける先生方のお手伝いができることは、とても有難いことだと感じています。
(めで島)



【森のようちえん事業報告】

地域イベントへの出展依頼が少しずつ入ってきました。イベントでは、100～250人程度の方が遊びに来てくださり、簡単な自然体験プログラムではあるものの、幅広く体験してもらえるスタートの機会になりました。保育園などへの研修プログラムも数件、ご依頼をいただきました。2月末の首相からのイベント等自粛要請の影響もあり、2月末以降の事業は中止となりました。

①プログラム提供事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

◆森のようちえん・森のほいくえん

主に前橋市内の幼稚園・保育園を対象にしたプログラムを提供

1月～3月 1件 参加延べ人数38人
(内、引率の先生4人)

②指導者派遣(1月～3月)

【関係団体の講習会、研修会などへの派遣】

9件(他、実施中止が7件)

住宅展示場イベントへ体験コーナー出展

保育園・こども園 職員研修講師

青少年教育施設 事業講師

指導者養成セミナー運営スタッフ、等

③主催事業(7件)

・森のようちえん～ほんわか～(年少～年長の子どもとその親)

① 1/26(日) 14組34人

② 3/1(日) 中止

・親子の森のようちえん(年少～年長の子どもとその親)

① 2/2(日) 12組36人

② 3/7(日) 中止

・もりっこ(年長～小2の子ども)

① 1/25(土) 22人

② 2/29(土) 中止

・あかぎぐんぐんキャンプ③

3/20(金)～3/21(土) 中止

コロナウイルスの影響で2月下旬～3月の事業は中止

参加者総数 92人 ボランティアスタッフ 延べ25人

2019年4月～2020年3月 森のようちえん/主催事業 延べ参加者数:3527人(ボランティア含む)

◆コロナウイルスの影響による休校措置に対する支援事業 in 大崎つり堀

コロナウイルスの影響により、学校現場は休校措置の対応に追われました。その結果、子どもたちが外遊びをする機会も減少し、地域でも様々な「居場所作り」「外遊びの場所提供」などの社会活動が活発になりました。

「あかぎの森のようちえん」でも、子どもたちが少しでも外遊びをする機会を得られるよう、「もりっこ」を緊急開催しました。手洗いや消毒を徹底しながらも、のんびりと外遊びを楽しむ子どもたちの姿を見て、自然体験活動の可能性を再認識する機会にもなりました。群馬県内での感染者が確認されいろいろな心配がある中で会場を提供して下さった「大崎つり堀」さん、本当にありがとうございました。(ぬで島)

①3/14(土)13名 ②3/15(日)10名 ③3/21(土)10名 ④3/28(土)10名

合計:43名(ボランティアスタッフ計:28名) 総計71名



【賛助会員・寄付のお願い】

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくりまします』の趣旨に賛同して下さる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ～～ 詳細は、事務局までお問合せください。 担当:櫛島

【ボランティア大募集!】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。

平日、週末と活動をしております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。 Mail: info@akagi-moriyou.com 担当:櫛島(ぬでじま)

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん
理事長 櫛島 隼人(ぬでじま はやと)
090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com
〒379-2206 伊勢崎市香林町1丁目90-3
<ホームページ> https://akagi-moriyou.com
～～～【あかぎの森】で検索!～～～



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください!